

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月4日まで（2013年8月23日設定）	
運用方針	メキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコの公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、F I レイベストメント・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	メキシコ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーマザーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替ヘッジなし>（毎月決算型）



第99期（決算日：2021年12月6日）
 第100期（決算日：2022年1月4日）
 第101期（決算日：2022年2月4日）
 第102期（決算日：2022年3月4日）
 第103期（決算日：2022年4月4日）
 第104期（決算日：2022年5月6日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>（毎月決算型）」は、去る5月6日に第104期の決算を行いましたので、法令に基づいて第99期～第104期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率					
	円		円	%	%	%		百万円	
75期(2019年12月4日)	6,705		30	△ 3.1	94.3	—		1,321	
76期(2020年1月6日)	6,993		30	4.7	93.8	—		1,339	
77期(2020年2月4日)	7,124		30	2.3	93.4	—		1,341	
78期(2020年3月4日)	6,886		30	△ 2.9	93.6	—		1,283	
79期(2020年4月6日)	5,181		30	△24.3	94.4	—		944	
80期(2020年5月7日)	5,403		30	4.9	94.5	—		979	
81期(2020年6月4日)	6,264		30	16.5	94.1	—		1,136	
82期(2020年7月6日)	6,166		30	△ 1.1	96.6	—		1,116	
83期(2020年8月4日)	5,996		30	△ 2.3	95.4	—		1,090	
84期(2020年9月4日)	6,222		30	4.3	96.4	—		1,090	
85期(2020年10月5日)	6,169		30	△ 0.4	94.3	—		1,067	
86期(2020年11月4日)	6,147		30	0.1	95.1	—		1,036	
87期(2020年12月4日)	6,648		30	8.6	94.4	—		1,119	
88期(2021年1月4日)	6,718		30	1.5	94.9	—		1,116	
89期(2021年2月4日)	6,705		30	0.3	96.4	—		1,107	
90期(2021年3月4日)	6,453		30	△ 3.3	95.4	—		1,033	
91期(2021年4月5日)	6,603		30	2.8	95.4	—		1,016	
92期(2021年5月6日)	6,507		30	△ 1.0	94.7	—		983	
93期(2021年6月4日)	6,645		30	2.6	93.9	—		994	
94期(2021年7月5日)	6,729		30	1.7	92.6	—		981	
95期(2021年8月4日)	6,575		30	△ 1.8	94.8	—		902	
96期(2021年9月6日)	6,607		30	0.9	94.3	—		864	
97期(2021年10月4日)	6,391		30	△ 2.8	93.4	—		830	
98期(2021年11月4日)	6,447		30	1.3	91.9	—		798	
99期(2021年12月6日)	6,225		30	△ 3.0	91.6	—		716	
100期(2022年1月4日)	6,494		30	4.8	90.6	—		736	
101期(2022年2月4日)	6,461		30	△ 0.0	93.0	—		670	
102期(2022年3月4日)	6,302		30	△ 2.0	93.5	—		649	
103期(2022年4月4日)	6,872		30	9.5	93.1	—		692	
104期(2022年5月6日)	6,889		30	0.7	91.9	—		683	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第99期	(期 首) 2021年11月4日	6,447		—	91.9		—
	11月末	6,104		△5.3	91.8		—
	(期 末) 2021年12月6日	6,255		△3.0	91.6		—
第100期	(期 首) 2021年12月6日	6,225		—	91.6		—
	12月末	6,501		4.4	90.2		—
	(期 末) 2022年1月4日	6,524		4.8	90.6		—
第101期	(期 首) 2022年1月4日	6,494		—	90.6		—
	1月末	6,417		△1.2	90.9		—
	(期 末) 2022年2月4日	6,491		△0.0	93.0		—
第102期	(期 首) 2022年2月4日	6,461		—	93.0		—
	2月末	6,421		△0.6	92.8		—
	(期 末) 2022年3月4日	6,332		△2.0	93.5		—
第103期	(期 首) 2022年3月4日	6,302		—	93.5		—
	3月末	6,844		8.6	93.4		—
	(期 末) 2022年4月4日	6,902		9.5	93.1		—
第104期	(期 首) 2022年4月4日	6,872		—	93.1		—
	4月末	6,812		△0.9	91.6		—
	(期 末) 2022年5月6日	6,919		0.7	91.9		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第99期～第104期：2021年11月5日～2022年5月6日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第99期首	6,447円
第104期末	6,889円
既払分配金	180円
騰落率	9.8%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ9.8% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことや、メキシコペソの対円での上昇などが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

債券市況の下落や信託報酬等のコストなどが基準価額の下落要因となりました。

第99期～第104期：2021年11月5日～2022年5月6日

投資環境について

▶ 債券市況

メキシコ債券市況は下落しました。

メキシコのインフレ率上昇に対応する形で同国中央銀行が継続して利上げを行ったことなどを背景に、メキシコ金利が上昇し、メキシコ債券市況は下落しました。

▶ 為替市況

メキシコペソは対円で上昇しました。

メキシコ中央銀行による利上げのほか、ウクライナ情勢の緊迫化を背景とした供給懸念から原油価格が上昇したこと等を背景に、メキシコペソは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ メキシコ債券オープン <為替ヘッジなし> (毎月決算型)

主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ国債等への実質的な投資を行いました。

▶ メキシコ債券マザーファンド 組入比率

現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

債券種別構成

メキシコ国債等を中心に運用を行いました。

金利戦略

メキシコ国債については、キャリー・ロールダウンの魅力度が高いとみて、中・長期ゾーンを中心に投資しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第99期 2021年11月5日~ 2021年12月6日	第100期 2021年12月7日~ 2022年1月4日	第101期 2022年1月5日~ 2022年2月4日	第102期 2022年2月5日~ 2022年3月4日	第103期 2022年3月5日~ 2022年4月4日	第104期 2022年4月5日~ 2022年5月6日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.480%)	30 (0.460%)	30 (0.462%)	30 (0.474%)	30 (0.435%)	30 (0.434%)
当期の収益	29	30	30	28	30	30
当期の収益以外	0	-	-	1	-	-
翌期繰越分配対象額	1,204	1,213	1,213	1,211	1,227	1,236

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるメキシコ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、メキシコ国債等への実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用する方針です。

▶ メキシコ債券マザーファンド

メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から中長期ゾーンへの投資が魅力的と見ています。

2021年11月5日～2022年5月6日

1万口当たりの費用明細

項目	第99期～第104期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	59	0.902	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(32)	(0.494)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.386)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.032	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.029)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	61	0.934	

作成期中の平均基準価額は、6,502円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

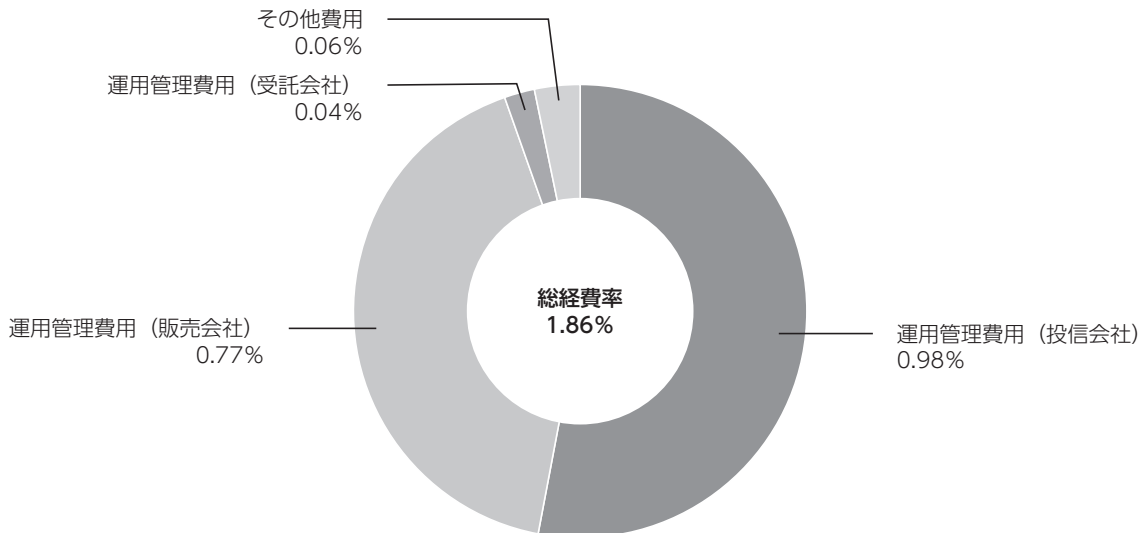
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.86%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年11月5日～2022年5月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第99期～第104期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ債券マザーファンド	—	—	153,047	187,670

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月5日～2022年5月6日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型) >

該当事項はございません。

<メキシコ債券マザーファンド>

区 分	第99期～第104期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 220	百万円 110	% 50.0

平均保有割合 89.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年5月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第98期末	第104期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メキシコ債券マザーファンド	653,130	500,082	669,760

○投資信託財産の構成

(2022年5月6日現在)

項 目	第104期末	
	評 価 額	比 率
メキシコ債券マザーファンド	千円 669,760	% 97.5
コール・ローン等、その他	17,501	2.5
投資信託財産総額	687,261	100.0

(注) メキシコ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (724,277千円) の投資信託財産総額 (755,069千円) に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 メキシコペソ=6.4562円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末
	2021年12月6日現在	2022年1月4日現在	2022年2月4日現在	2022年3月4日現在	2022年4月4日現在	2022年5月6日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	727,273,877	740,451,504	674,541,915	653,116,122	704,928,492	687,261,544
コール・ローン等	20,257,324	15,197,619	14,452,575	14,108,701	23,257,777	9,890,641
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	707,016,553	725,253,885	660,089,340	639,007,421	681,670,714	669,760,903
未収入金	—	—	—	—	—	7,610,000
未収利息	—	—	—	—	1	—
(B) 負債	10,467,604	4,446,991	4,222,754	4,017,468	12,740,558	4,055,141
未払収益分配金	3,454,577	3,400,008	3,112,634	3,089,880	3,021,695	2,975,166
未払解約金	5,816,480	—	—	—	8,706,744	—
未払信託報酬	1,193,471	1,044,307	1,107,281	925,218	1,009,539	1,077,216
未払利息	20	4	5	2	—	3
その他未払費用	3,056	2,672	2,834	2,368	2,580	2,756
(C) 純資産総額(A-B)	716,806,273	736,004,513	670,319,161	649,098,654	692,187,934	683,206,403
元本	1,151,525,958	1,133,336,026	1,037,544,785	1,029,960,182	1,007,231,941	991,722,159
次期繰越損益金	△ 434,719,685	△ 397,331,513	△ 367,225,624	△ 380,861,528	△ 315,044,007	△ 308,515,756
(D) 受益権総口数	1,151,525,958口	1,133,336,026口	1,037,544,785口	1,029,960,182口	1,007,231,941口	991,722,159口
1万口当たり基準価額(C/D)	6.225円	6.494円	6.461円	6.302円	6.872円	6.889円

○損益の状況

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2021年11月5日～ 2021年12月6日	2021年12月7日～ 2022年1月4日	2022年1月5日～ 2022年2月4日	2022年2月5日～ 2022年3月4日	2022年3月5日～ 2022年4月4日	2022年4月5日～ 2022年5月6日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 532	△ 177	△ 149	△ 104	△ 26	△ 117
受取利息	—	—	7	4	1	—
支払利息	△ 532	△ 177	△ 156	△ 108	△ 27	△ 117
(B) 有価証券売買損益	△ 20,902,440	34,962,169	749,347	△ 12,302,048	61,437,389	5,732,732
売買益	1,089,319	35,227,144	868,267	20,549	62,353,976	5,968,552
売買損	△ 21,991,759	△ 264,975	△ 118,920	△ 12,322,597	△ 916,587	△ 235,820
(C) 信託報酬等	△ 1,196,527	△ 1,046,979	△ 1,110,115	△ 927,586	△ 1,012,119	△ 1,079,972
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 22,099,499	33,915,013	△ 360,917	△ 13,229,738	60,425,244	4,652,643
(E) 前期繰越損益金	△ 103,193,322	△ 126,413,776	△ 87,606,883	△ 90,239,252	△ 103,990,903	△ 45,786,347
(F) 追加信託差損益金	△ 305,972,287	△ 301,432,742	△ 276,145,190	△ 274,302,658	△ 268,456,653	△ 264,406,886
(配当等相当額)	(123,690,905)	(121,780,234)	(111,526,133)	(110,746,802)	(108,337,278)	(106,704,983)
(売買損益相当額)	(△429,663,192)	(△423,212,976)	(△387,671,323)	(△385,049,460)	(△376,793,931)	(△371,111,869)
(G) 計 (D+E+F)	△ 431,265,108	△ 393,931,505	△ 364,112,990	△ 377,771,648	△ 312,022,312	△ 305,540,590
(H) 収益分配金	△ 3,454,577	△ 3,400,008	△ 3,112,634	△ 3,089,880	△ 3,021,695	△ 2,975,166
次期繰越損益金 (G+H)	△ 434,719,685	△ 397,331,513	△ 367,225,624	△ 380,861,528	△ 315,044,007	△ 308,515,756
追加信託差損益金	△ 305,972,287	△ 301,432,742	△ 276,145,190	△ 274,302,658	△ 268,456,653	△ 264,406,886
(配当等相当額)	(123,699,208)	(121,788,813)	(111,534,320)	(110,752,604)	(108,345,869)	(106,711,576)
(売買損益相当額)	(△429,671,495)	(△423,221,555)	(△387,679,510)	(△385,055,262)	(△376,802,522)	(△371,118,462)
分配準備積立金	15,032,472	15,753,727	14,412,037	14,073,672	15,326,563	15,952,822
繰越損益金	△ 143,779,870	△ 111,652,498	△ 105,492,471	△ 120,632,542	△ 61,913,917	△ 60,061,692

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 1,239,103,155円
 作成期中追加設定元本額 13,763,289円
 作成期中一部解約元本額 261,144,285円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.6889円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は308,515,756円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2021年11月5日～ 2021年12月6日	2021年12月7日～ 2022年1月4日	2022年1月5日～ 2022年2月4日	2022年2月5日～ 2022年3月4日	2022年3月5日～ 2022年4月4日	2022年4月5日～ 2022年5月6日
費用控除後の配当等収益額	3,357,264円	4,393,735円	3,133,089円	2,884,619円	4,613,749円	3,864,942円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	123,699,208円	121,788,813円	111,534,320円	110,752,604円	108,345,869円	106,711,576円
分配準備積立金額	15,129,785円	14,760,000円	14,391,582円	14,278,933円	13,734,509円	15,063,046円
当ファンドの分配対象収益額	142,186,257円	140,942,548円	129,058,991円	127,916,156円	126,694,127円	125,639,564円
1万口当たり収益分配対象額	1,234円	1,243円	1,243円	1,241円	1,257円	1,266円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	3,454,577円	3,400,008円	3,112,634円	3,089,880円	3,021,695円	2,975,166円

- ④ 「メキシコ債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の50以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
1万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

メキシコ債券マザーファンド

《第18期》決算日2022年5月6日

〔計算期間：2021年11月5日～2022年5月6日〕

「メキシコ債券マザーファンド」は、5月6日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	メキシコの公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。運用にあたっては、メキシコの国債、政府機関債、社債等に投資を行います。投資する社債は、メキシコの企業が発行する債券とし、原則として取得時においてBBB一格相当以上の格付けを取得しているものに限りません。なお、社債への投資比率は純資産総額の30%以下とします。メキシコペソ建て以外の公社債への投資比率は、純資産総額の20%以下とします。メキシコペソ以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にメキシコペソ建てとなるように為替取引を行います。債券等の運用にあたっては、F I レイベストメンツ・インターナショナルに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	メキシコの公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
14期(2020年5月7日)	8,997	△19.6%	95.3%	—	1,056
15期(2020年11月4日)	10,673	18.6%	96.2%	—	1,115
16期(2021年5月6日)	11,734	9.9%	96.2%	—	1,055
17期(2021年11月4日)	12,057	2.8%	93.2%	—	869
18期(2022年5月6日)	13,393	11.1%	93.8%	—	746

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2021年11月 4 日	円 12,057	—	93.2	—	% —
11月末	11,422	△ 5.3	93.0	—	—
12月末	12,257	1.7	92.0	—	—
2022年1月末	12,172	1.0	92.8	—	—
2月末	12,255	1.6	94.0	—	—
3月末	13,160	9.1	94.7	—	—
4月末	13,175	9.3	92.8	—	—
(期 末) 2022年 5 月 6 日	13,393	11.1	93.8	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

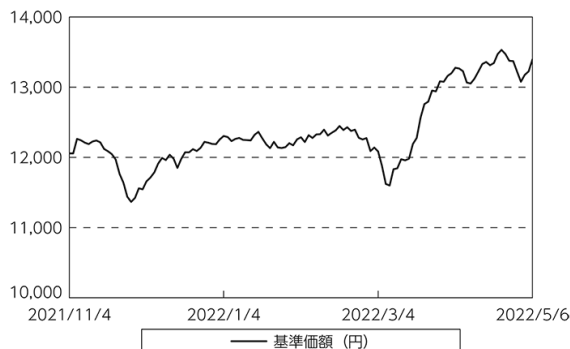
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことや、メキシコペソの対円での上昇などが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

債券市況の下落などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

・メキシコのインフレ率上昇に対応する形で同国中央銀行が継続して利上げを行ったことなどを背景に、メキシコ金利が上昇し、メキシコ債券市況は下落しました。

◎為替市況

・メキシコ中央銀行による利上げのほか、ウクライナ情勢の緊迫化を背景とした供給懸念から原油価格が上昇したこと等を背景に、メキシコペソは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・メキシコ国債等を中心に運用を行いました。

◎金利戦略

- ・メキシコ国債については、キャリー・ロールダウンの魅力が高いとみて、中・長期ゾーンを中心に投資しました。

○今後の運用方針

- ・メキシコ国債を中心に運用します。国債への投資にあたっては、金利変動リスクとキャリー・ロールダウン効果のバランスの点から中長期ゾーンへの投資が魅力的と見ています。

○1万口当たりの費用明細

(2021年11月5日～2022年5月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 4 (4)	% 0.030 (0.030)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	4	0.030	
期中の平均基準価額は、12,371円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年11月5日～2022年5月6日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 18,026	千メキシコペソ 45,477

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月5日～2022年5月6日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 220	百万円 110	% 50.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2022年5月6日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	114,420	108,403	699,876	93.8	—	59.7	31.2	2.9
合 計	114,420	108,403	699,876	93.8	—	59.7	31.2	2.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券						
	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	13,830	14,142	91,308	2024/12/5	
	10 MEXICAN BONOS 361120	10.0	10,600	11,297	72,937	2036/11/20	
	5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	10,800	9,669	62,430	2026/3/5	
	7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	9,440	8,861	57,209	2027/6/3	
	7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	8,500	7,790	50,299	2031/5/29	
	7.75 MEXICAN BONO 341123	7.75	3,600	3,216	20,766	2034/11/23	
	7.75 MEXICAN BONO 421113	7.75	10,630	9,125	58,916	2042/11/13	
	8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	3,400	3,353	21,651	2023/12/7	
	8 MEXICAN BONOS 240905	8.0	12,500	12,246	79,063	2024/9/5	
	8 MEXICAN BONOS 471107	8.0	13,870	12,112	78,201	2047/11/7	
	8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	11,900	11,553	74,592	2029/5/31	
	8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	5,350	5,034	32,501	2038/11/18	
合 計					699,876		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年5月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 699,876	% 92.7
コール・ローン等、その他	55,193	7.3
投資信託財産総額	755,069	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (724,277千円) の投資信託財産総額 (755,069千円) に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=6.4562円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	755,069,177
コール・ローン等	33,242,344
公社債(評価額)	699,876,715
未収利息	21,938,927
前払費用	11,191
(B) 負債	8,780,010
未払解約金	8,780,000
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	746,289,167
元本	557,239,562
次期繰越損益金	189,049,605
(D) 受益権総口数	557,239,562口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,393円

<注記事項>

- ①期首元本額 721,358,454円
 期中追加設定元本額 1,201,634円
 期中一部解約元本額 165,320,526円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3393円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	500,082,807円
三菱UFJ メキシコ債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月決算型)	57,156,755円
合計	557,239,562円

○損益の状況 (2021年11月5日~2022年5月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	33,286,242
受取利息	33,287,881
支払利息	△ 1,639
(B) 有価証券売買損益	45,016,316
売買益	112,615,346
売買損	△ 67,599,030
(C) 保管費用等	△ 229,297
(D) 当期損益金(A+B+C)	78,073,261
(E) 前期繰越損益金	148,377,452
(F) 追加信託差損益金	178,366
(G) 解約差損益金	△ 37,579,474
(H) 計(D+E+F+G)	189,049,605
次期繰越損益金(H)	189,049,605

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。